



わたしの夢

川俣小学校6年

桑原

星菜^{せな}

母のような

幼稚園教諭になりたい

わたしの夢は、明るくて優しい、そして子どもたちと向き合っていて関わることのできる幼稚園教諭になることです。幼稚園教諭になりたいという夢は、当時担任だった先生に憧れていたことや母が幼稚園教諭だったということもあり、私がまだ園児だった頃から描いていました。また、小学校に入学してから下級生に掃除の方法を教えたり学童保育で勉強を教えたりする機会が増えていくうちに、より幼稚園教諭になるという夢を叶えたい想いも強くなっていきました。幼稚園教諭になりたいということは母も知っていて、小さい頃から応援してくれています。母は「幼稚園教諭になるためにピアノを弾けることが必要不可欠だよ」と教えてくれたうえ、小学校2年生からピアノ教室に通わせてくれています。幼稚園教諭になるという夢を叶えるために、これからも勉強とピアノの練習を頑張ったり、積極的に下級生との関わりを持ちたりするなど出来ることから頑張りたいです。

町長のひとこと vol.32



「銀座ミツバチプロジェクト」副理事長の田中淳夫さんとの出会いは、平成22年の春、東京銀座のビルで日本ミツバチ飼育の勉強会に参加した時でした。銀座のビルの屋上でミツバチを飼うことは当時の私には信じがたいことでしたが、屋上ではミツバチが飛び交い、さらに蜂蜜の収穫体験までできました。その後「銀座ミツバチプロジェクト」で福島県内の他市町村との連携交流を行っているということを知り、早速、田中さんに連絡し「当町でもぜひ勉強会を」とお願いしたところ、二つ返事で快諾していただきました。蜂は作物の受粉を行ったり、蜂蜜を集めたり、私たちの生活を豊かにしてくれる生き物です。「蜂の巣が縁起物として扱われてきた」という由来のとおり、蜂の縁が繋いでくれたこの交流を機に他市町村との交流会や町内の子どもたちの環境教育を進めていきたいと思えます。